

# 鳥取大学 大学紹介

## 医学部医学科の説明

### ～地域枠について～

2025(令和7)年8月2日(土) 開催

(神戸大学医学部附属地域医療活性化センター)



鳥取大学医学部

Tottori University Faculty of Medicine



[http://www.med.tottori-u.ac.jp/  
morikawa@tottori-u.ac.jp](http://www.med.tottori-u.ac.jp/morikawa@tottori-u.ac.jp)

※ 学校推薦型選抜Ⅱの「特別養成枠」6人、一般選抜前期日程の「地域枠」18人（鳥取県枠11人/兵庫県枠2人/島根県枠5人）の募集人員は、「地域の医師確保のための臨時的な増員分」として継続申請予定で、正式に申請が認められるのは、10月の中旬以降の予定です。そのために現在は募集活動ができず、定員には含まれないこと（スライド番号14, 16）をご承知おきください。兵庫県枠が認められると予測して、出願要件等を（スライド番号17, 18, 19）を作成しております。

今年度（2026年度）入試の詳細は、一般選抜募集要項（11月上旬公表予定）やホームページでご確認ください。

- 1893年(明治26年) 鳥取県立病院米子支部病院が開院
- 1925年(大正14年) 看護婦・産婆養成所を附設
- 1927年(昭和 2年) 財団法人 米子病院と改称
- 1945年(昭和20年) 官立 米子医学専門学校が開学
- 1948年(昭和23年) 官立 米子医科大学と改称
- 1949年(昭和24年) 新制 鳥取大学 医学部が発足
- 1951年(昭和26年) 鳥取大学医学部附属病院と改称  
米子医科大学厚生女子部を医学部附属看護学校と改称
- 1975年(昭和50年) 附属看護学校を医療技術短期大学部へ改組
- 1990年(平成 2年) 生命科学科設置(国立大学初の医学部設置)
- 1999年(平成11年) 医療技術短期大学部を保健学科へ改組
- 2010年(平成22年) 附属病院で山陰初の手術ロボット「da Vinci S」導入
- 2011年(平成23年) 附属病院が週刊ダイヤモンド「頼れる病院」特集で西日本1位
- 2015年(平成27年) 鳥取大学生生活協同組合医学部食堂がリニューアル
- 2018年(平成30年) 「とっとり創薬実証センター」開設

現在でも米子市では  
「鳥取大学医学部」と  
呼ばず『医大』と呼ぶ

## 【医学部理念】

鳥取大学医学部は、医学科、生命科学科、保健学科がお互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成する。

## 【医学部の教育目標】

鳥取大学医学部は、山陰地方の歴史と伝統のある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行う。そして、限りない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指す。

## 【医学科の教育目標】

高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成する。

医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成するために、次のような人を広く受け入れます。

1. **医学に関心があり、目標に向かって継続的に努力できる人**
2. **医学を学ぶために必要な基礎学力・教養をもつ人**
3. **問題を解決するための柔軟な思考力及び豊かな表現力をもつ人**
4. **思いやり、責任感及び協調性のある健全な考え方もつ人**
5. **医学・医療と保健・福祉の発展に貢献したいと考えている人**
6. **地域・国際医療に関心をもち、貢献したいと考えている人**

これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、多角的視野など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学テストを利用する一般選抜及び学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

医学科では、卒業認定・学位授与の方針を実現できるように、次の掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

### (1) 教育課程・教育内容

1. **医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育プログラムを導入し、到達目標を明確にし、卒業時までには医師あるいは研究医になるために必要な知識、技能、態度を身につけられるようなカリキュラムを組むことを基本的な方針としています。**
2. **人間力を高めて、幅広い能力を持った職業人を養成するため、教養教育を受講する機会を広く提供し、人間力の構成要素がバランスよく身につくカリキュラムを展開します。**
3. **学問に対する興味を深め、学問・研究が社会に貢献している実状を理解させる教育を実践します。**

4. 創造力豊かな医療人を育成するためイノベーション教育を実施します。
5. 生命倫理、利益相反、危機管理、環境問題等の社会的に関心の高い学問領域を重視した教育を実施します。
6. 人体および人体標本に対する礼意や倫理に関する教育、守秘義務に関する教育を実施します。
7. 情報社会において安全かつ有効にネットワークを活用できるようにするため情報リテラシー教育を実施します。
8. コミュニケーションの大切さを実感させる教育を実施します。  
手話をコミュニケーション方法として取り入れるために手話教育に力を入れます。

9. 研究体験、先端医学講義、及び英語論文抄読などにより、リサーチマインドを涵養します。
10. 診療英会話などの実践的英語能力の向上を目指します。海外の学術交流協定校との間で臨床実習体験などの交流を行います。
11. 全人的医療人育成のため、低学年から早期医療体験を通じて、医療従事者としての動機付けを行い、臨床講義終了後に地域医療体験で地域に密着した医療を学ぶとともに地域の保健、福祉、介護の実践と多職種連携の重要性を理解する教育を実施します。
12. グローバルスタンダードを視野に入れた診療参加型臨床実習を実施します。

## (2) 教育方法

1. 目標とする学習成果を達成できるように、対話型、参加型教育を展開して能動的な学習を推進します。

## (3) 学習成果の評価

1. 学部の定める成績評価基準に基づき、学習成果の達成度を知識、技能、態度について、試験、レポート、評価表等を用いて厳格に評価するとともに、学生の学習成果達成度を可視化することに努めます。
2. 学習成果をモニターして教育課程の効果と適切性を検証し、教育課程の編成に反映します。

医学科では、その教育目標を踏まえ、学生が医学科の教育課程を修め、所定の単位を取得して卒業要件を満たし、次に掲げる能力や特性を身につけたときに学士（医学）の学位を授与します。

1. 医師に求められる基本的な知識、技能、態度を修得し、それを生涯にわたって維持向上させる姿勢を有している。
2. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会に対する自身の役割を認識し、患者中心の立場に立った医療を実践する能力を身につけている。
3. 論理的思考力、高度な判断力、コミュニケーション能力を身につけ、他者と協力・共同して医療・研究を行う能力を有している。
4. 常に知的探究心と創造性を持ち、最新の医学的知識を身につけ、国際的な視点で物事を考える能力を有している。
5. 地域や地域で暮らす人を愛する心を持ち、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献する能力を有している。

## ① 総合医学教育センターによる教育支援

医学教育方法の研究や、地域社会の医療人育成のための生涯教育の推進を主な目的とし、卒前・卒後の一貫した教育支援を実施。

## ② コミュニケーション・イノベーション教育の導入

2/3の時間数でモデル・コア・カリキュラム(全国统一の基本的内容)、残り1/3で本学の教育理念に基づく「コミュニケーション・イノベーション教育」に重点を置き、保育園・高齢者施設での実習による他者理解(ヒューマンコミュニケーション)、全国初の手話教育、医療人としてのメディカルコミュニケーション等、独自カリキュラムを構築。

## ③ “アクティブラーニング”への変換

自ら課題を探究し問題解決していく力を身につけられる、学生主体の能動的学習(アクティブラーニング)や小グループに分かれて課題解決を行うチュートリアル教育を導入。一定期間希望の研究室で自主的な研究に取り組む機会を設置。2018年度から開始した新カリキュラムでは、臨床実習の期間を66週に延長し、近隣の関連医療機関と連携して、学生も医療スタッフの一員として加わる診療参加型実習を実践。

## ④ 日本医学教育評価機構(JACME)による認定

2018年7月、国際的な医学教育基準の日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、7年間(2019年6月1日～2026年5月31日)の認定。

## ⑤ 多彩な海外研修プログラム(2020年から取り止めている)

グローバルな視点を有する医師養成のため、夏季休業などを利用した短期研修制度があり、これに医学部同窓会が積極的な支援。主な海外研修プログラムは以下の通り。

- ・フィリピン共和国(国立サンラサロ病院[保健省関連病院]):6年次臨床研修
- ・イギリス(ケンブリッジ大学, 国内の診療所):家庭医療研修
- ・シンガポール(ディポヌゴロ大学):プライマリケア研修

## ⑥ 6年間同一キャンパス(米子キャンパス)で学べる環境

入学から卒業するまで引越しがなく、落ち着いて学べる。

## ⑦最新かつ高度な医療環境

医学部附属病院は、地域医療を支える「最後の砦」として最新の医療設備・施設環境を整備。39診療科で約2,000人の医療スタッフと697病床数をもつ特定機能病院として高度先進医療を安心安全に提供。米子キャンパスに隣接した医学部生の実習先として医療人の育成。

医学部附属病院の主な附属診療施設等は以下の通り。

- ・救急救命センター(2004年)
- ・総合周産期母子医療センター(2006年)
- ・脳とこころの医療センター(2009年)
- ・内視鏡手術ロボット「da Vinci S」(2010年)
- ・低侵襲外科センター(2011年)
- ・ヘリポート整備(2014年)
- ・鳥取県ドクターヘリ事業、新規医療研究推進センター(2017年)
- ・内視鏡手術ロボット「da Vinci Xi, da Vinci X」の2台体制(2019年)
- ・国産手術支援ロボット「hinotori」を導入(2022年)
- ・国産手術支援ロボット最新機種「Hugo」を導入(2023年)

「最後の砦」として地域医療を守る

多職種で治療に挑む  
「チーム医療」の実践

【4台の手術支援ロボットが稼働】

選抜方式	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜前期
募集定員	20人(26人)	60人(78人)
大学入学共通テスト	課す【6教科8科目】	
出願期間	11月4日(火)～10日(月)	1月26日(月)～2月4日(水)
試験日	12月6日(土)	2月25日(水)・26(木)
合格発表	2月10日(火)	3月7日(土)
入学手続期限	2月17日(火)	3月15日(日)

※ カッコ内は申請が認められた場合の入学定員

選抜方式	選抜方法	求める能力							備考(活用方法など)
		知識技能	思考力判断力	表現力	主体性協働性	向上心創造力探究心	多角的視野	配点	
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○					920	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)		○	○	○	○	○	100	調査書・推薦書は、面接の際の参考にする。
一般選抜前期	大学入学共通テスト	○	○					920	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○				600	
	個別試験(面接)		○	○	○	○	○	100	自己評価シートと調査書は、面接の際の参考にする。

選抜方式	入学定員	教科科目	試験区分	国語	地歴・公民	数学 (個別に医学科 問題有[1/4])	理科 (物・化・ 生から2)	外国語	情報	面接	合計	
推薦Ⅱ	20	6教科	大学入学 共通テスト	200	100	200	200	200	20		920	
			個別学力 検査等			※大学入学共通テストの外国語(英語)の配点比率 「リーディング(R):リスニング(L)=4:1」					100	100
			計	200	100	200	200	200		100	1,020	
一般前期	60 一般枠 53 とっとり 医療人 養成枠 7	8科目	大学入学 共通テスト	200	100	200	200	200	20		920	
			個別学力 検査等			200	200	200		100	700	
			計	200	100	400	400	400		100	1,620	

※ 一般選抜において**2段階選抜を導入**。大学入学共通テストの換算点**613点以上**の者が第1段階選抜の合格者。

※ 面接は10～15分、受験者1人に対し面接官2～3人で実施。社会常識、問題意識、医学を志す動機等について質問し、その対応等を通じて、医師となるのにふさわしい資質、思考の柔軟性、発言の論理性等を総合的に評価。医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は不合格とする。

推薦II	一般枠	*地域枠	*特別養成枠
定員	15人	5人	(6人)
出願要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現役のみ</li> <li>・学習成績概評 A段階</li> <li>・1高校につき8人以内(地域枠、特別養成枠を含め)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県内者のみ</li> <li>・2浪まで</li> <li>・1高校につき9人以内(現役は一般枠、特別養成枠含め8人以内、既卒は1人)</li> <li>・入学後、鳥取県の奨学金を受給することを確約できる者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意思がある者</li> <li>・「鳥取県内の高校卒業」、「鳥取県の出生(・本籍・住所)」、「保護者が鳥取県の出生(・本籍・住所)」、「前述と同等程度に密接であると知事が判断」のいずれか</li> <li>・上記に該当し「予約奨学生」の決定を鳥取県から受けた者</li> <li>・2浪まで</li> <li>・1高校につき現役は一般枠、地域枠を含め8人以内、既卒は制限無</li> <li>・入学後、鳥取県の奨学金を受給することを確約できる者</li> </ul>

\* 詳細は鳥取県の福祉保健部健康医療局医療政策課人材確保室(TEL 0857-26-7195)まで問い合わせる。  
(医療政策課HPで医師確保奨学金制度概要についても必ず確認。)

●複数の枠を重複しての志願が可能である。  
その場合の可否判定は、①特別養成枠、②地域枠、③一般枠の順番で行う。

一般選抜前期	一般枠	とっとり医療人養成枠	※鳥取県枠	※兵庫県枠	※島根県枠
定員	53人	7人	(11人)	(2人)	(5人)
出願要件		(新設された枠のため、詳細については募集要項にて公表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒年は不問</li> <li>・出身地、出身高等学校は不問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒年は不問</li> <li>・出身高等学校が兵庫県内または、出願時に本人または保護者が兵庫県内に居住</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒年は不問</li> <li>・出身地、出身高等学校は不問</li> <li>・卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること</li> </ul>

※「地域枠(とっとり医療人養成枠、鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠)」は県によって要件が異なる。入学後に当該県の奨学金を受給し、かつ卒業後は当該県内の医療に従事する意志がなければならない。各県の奨学金制度は当該県HPで確認することが必要。

●一般枠と地域枠(いずれか1つ)を重複しての志願が可能である。  
その場合の合否判定は、地域枠を優先して行う。

- 定員2人で卒業年度は不問
- 「出身高校等が兵庫県内に所在」、「出願時において本人又は保護者が兵庫県内に居住していること」のいずれか
- 出願は「一般枠」と併願可能で、合否判定は地域枠を優先して行う
- 「志願所信書」、「県医師養成同意書」、「自己評価シート」、「住民票抄本」を出願時に送付  
(「県養成医師同意書」に関しては、「兵庫県医師養成制度について」の書類を読んで確認し、志願者本人と、保護者もしくは法定代理人の自筆による署名と押印が必要。)
- 兵庫県の試験(面接)は、鳥取大学での試験日の翌日に実施  
(2026年度は2026年2月27日の予定)
- 貸付期間は6年間で、貸付金額(予定)は、11,514,800円

- 「志願所信書」について 【記載内容[2025年度入試の場合]】
  - ・「鳥取大学医学部医学科地域枠に応募する理由と、どのような医師になりたいか等について、自由に記すこと。(800字以内)」
  - ・インターネット出願システムから指定された形式で両面印刷し、表紙及び裏面の氏名は自署すること。
- 「自己評価シート」について
  - ・「高校時代及び本学を受験するまでの活動履歴」として特に力を入れて取り組んだ活動を1つ選択し、その活動内容を100字以内で入力する。
  - ・「入学後に身につけたいこと」として、優先度の高い上位5つを選択する。
  - ・「大学で取り組みたいこと」について、学部・学科のアドミッションポリシーの内容を確認した上で、100字以内で入力する。
  - ・これら3つの項目について、「インターネット出願ページ」で入力したものを印刷し、提出する。

- 卒業から2年以内に医師免許を取得(卒業時を含めて、受験機会は3回)
- その後9年間は兵庫県職員(医師)として、兵庫県が定める「県養成医師キャリア形成プログラム」に沿って知事が指定する医療機関等に勤務すると奨学金の返済が免除
- 卒業後の勤務先は、兵庫県内のへき地等の市町立医療機関等で、兵庫県が決定
- 診療科について、募集時に限定はしないが、兵庫県内で必要とされる分野については、入学後に情報提供を行う(総合診療、内科、産科、小児科、救急科など)
- 初期研修の研修先は、兵庫県が決定(返還免除の期間に含まれる)
- 後期研修(卒後6~7年目から2年間)の研修先は、希望を踏まえて兵庫県が決定

年度	入試区分	募集人員(A)	志願者数(B)	志願倍率(B/A)	受験者数(C)	受験倍率(C/D)	合格者数(D)
2025	推薦Ⅱ	26	140	5.4	139	5.3	26
	前期	78	383	4.9	307	3.7	82
2024	推薦Ⅱ	26	110	4.2	109	4.2	26
	前期	79	194	2.5	152	1.9	79
2023	推薦Ⅱ	26	100	3.8	97	3.7	26
	前期	79	422	5.3	349	4.1	86
2022	推薦Ⅱ	25	95	3.8	94	3.9	24
	前期	79	214	2.7	167	2.1	80
2021	推薦Ⅱ	25	69	2.8	69	2.8	25
	前期	79	359	4.5	301	3.8	79

入試年度	2024	2024	2023	2022	2021
志願者(人)	12	8	9	10	12
受験者(人)	10	7	6	7	9
合格者(人)	2	2	2	2	2
入学者(人)	2	2	2	2	2

入試年度	2020	2019	2018	2017	2016
志願者(人)	8	7	8	8	14
受験者(人)	8	6	7	8	11
合格者(人)	2	2	2	2	2
入学者(人)	2	2	2	2	2

年度	区分	最高点(得点率(%))	最低点(得点率(%))	平均点(得点率(%))	配点
2025	総合	1,453.6 (89.7)	1,298.2 (80.1)	1,333.5 (82.3)	1,620
2025	共テ	834.4 (90.7)	722.0 (78.5)	745.1 (84.5)	920
2024	総合	1,379.6 (86.2)	1,226.4 (76.7)	1,296.7 (81.0)	1,600
2024	共テ	791.8 (88.0)	681.6 (75.7)	745.1 (82.8)	900
2023	総合	1,347.6 (84.2)	1,257.8 (78.6)	1,290.0 (80.6)	1,600
2023	共テ	763.0 (84.8)	695.2 (77.2)	726.4 (80.7)	900
2022	総合	1,365.9 (85.4)	1,183.6 (74.0)	1,257.0 (78.6)	1,600
2021	総合	1,340.1 (83.8)	1,198.0 (74.9)	1,235.8 (77.2)	1,600

兵庫県枠は2人の募集のため、得点状況(最高点、最低点、平均点)の公開はしていない

## 【2025年度入学者】

### <都道府県別>

都道府県	人数	%
鳥取県	19	18.3
兵庫県	16	15.4
大阪府	14	13.4
岡山県	12	11.5
島根県	8	7.7
京都府	6	5.8
広島県	5	4.8
愛知県	4	3.8
茨城県	3	2.9
愛媛県	3	2.9
埼玉県	2	1.9
東京都	2	1.9
静岡県	2	1.9
奈良県	2	1.9
福岡県	2	1.9
栃木県	1	1.0
神奈川県	1	1.0
和歌山県	1	1.0
高知県	1	1.0
計	104	100.0

### <地方別>

地方	人数	%
近畿	44	42.3
中国	39	37.5
関東	9	8.7
中部	6	5.8
四国	4	3.8
九州	2	1.9
計	104	100.0

### <男女別>

性別	人数	%
女子	31	29.8
男子	73	60.2
計	104	100.0

### <現浪別>

現浪	人数	%
現役	42	40.4
1浪	40	38.5
2浪以上	22	21.1
計	104	100.0

## 【2024年度入学者】

### <都道府県別>

都道府県	人数	%
鳥取県	20	19.0
兵庫県	14	13.3
大阪府	13	12.2
島根県	12	11.4
岡山県	9	8.6
広島県	9	8.6
愛知県	5	4.8
東京都	4	3.8
京都府	4	3.8
静岡県	3	2.9
千葉県	2	1.9
神奈川県	2	1.9
福岡県	2	1.9
茨城県	1	2.9
三重県	1	1.0
滋賀県	1	1.0
奈良県	1	1.0
愛媛県	1	1.0
高知県	1	1.0
計	105	100.0

### <地方別>

地方	人数	%
中国	50	47.6
近畿	34	32.4
関東	9	8.6
中部	8	7.6
四国	2	1.9
九州	2	1.9
計	105	100.0

### <男女別>

性別	人数	%
女子	42	40.0
男子	63	60.0
計	105	100.0

### <現浪別>

現浪	人数	%
現役	40	38.1
1浪	40	38.1
2浪以上	25	23.8
計	105	100.0

## 【2023年度入学者】

### <都道府県別>

都道府県	人数	%
鳥取県	19	18.1
大阪府	16	15.2
兵庫県	12	11.4
岡山県	12	11.4
島根県	9	8.6
広島県	5	4.8
静岡県	4	3.8
京都府	4	3.8
奈良県	4	3.8
東京都	3	2.9
神奈川県	3	2.9
愛知県	3	2.9
北海道	2	1.9
茨城県	1	1.0
長野県	1	1.0
岐阜県	1	1.0
和歌山県	1	1.0
山口県	1	1.0
香川県	1	1.0
愛媛県	1	1.0
佐賀県	1	1.0
その他	1	1.0
計	105	100.0

### <地方別>

地方	人数	%
中国	46	43.8
近畿	37	35.2
中部	9	8.6
関東	7	6.7
北海道	2	1.9
四国	2	1.9
九州	1	1.0
その他	1	1.0
計	105	100.0

### <男女別>

性別	人数	%
女子	42	40.0
男子	63	60.0
計	105	100.0

### <現浪別>

現浪	人数	%
現役	51	48.6
1浪	30	28.6
2浪以上	24	22.9
計	105	100.0

# 米子キャンパスの立地

【神戸から米子までの交通アクセス】(約300km)

- ・鉄道 約3時間(乗り換え時間を含む)

新神戸【新幹線30分】 岡山【特急「やくも」130分】 米子

- ・高速バス 約3時間20分

三ノ宮【中国道・米子道】 米子

【米子駅から医学部まで】(約1.5km)

- ・バスで8分
- ・徒歩で15分

米子市内のホテルは室数が少ないため  
早めに予約をお勧めします！

医学科は6年間  
米子キャンパス



ワンルームマンション(8~10畳、バス、トイレ[セパレート]、キッチン付)

平均家賃 **49,000円**

※家賃の金額幅は3~6万円 通学時間が10分未満の学生は約2/3

物件は豊富にあるため、合格後に探しても間に合います。大学生協へ相談を！

**【医学部学生寮】** 医学部まで徒歩5分、鉄筋5階建、全65室

設備: 個室14㎡、ユニットバス・トイレ・エアコン付、電磁調理器(1口)

寮費: 寄宿料 月額 17,000円(入寮費 40,000円)、(ただし、光熱水料等は個人負担)

在寮期間: 修業年限内

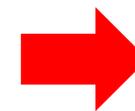
## 注意事項

- ・「部屋」は、複数人一緒の相部屋ではなく、1人1部屋の「個室」
- ・「トイレ・風呂」は、共同ではなく、各部屋に有(ユニットバス)
- ・「食事」は「自炊」か「外食」(まかない付きではなく、自分で用意)
- ・保護者の所得証明等が申請に必要、申請に基づき入寮者を選考

- ・約9割の学生が“部活・サークル”に加入
- ・課外活動を通じて“タテ・ヨコの人間関係”を構築
- ・“医学部ならではの”の活動もさかん  
「地域医療研究部」(創立60年以上！)をはじめ, 「peer in heart(性教育)」, 「学生ACLS(救命救急サークル)」, 「筋ジストロフィーボランティア部」, 「大山家族(小児糖尿病支援)」, 「しゅわっち(手話サークル)」, 「国際保健友の会ハクナマタタ」, 「TC-sarch(総合診療やERでの対応)」等
- ・“米子ならではの”の活動もさかん  
「サーフィン部」, 「漕艇部」, 「サイクリング部」, 「競技スキー部」等

鳥取大学 サークル一覧とリンクのページへ

- ・米子地区 体育系サークル 32団体
- ・米子地区 文化系サークル 30団体



年度(回)	2024(119)	2023(118)	2022(117)	2021(116)	2020(115)
合格率(%)	<b>94.3</b>	<b>92.5</b>	<b>94.9</b>	<b>92.5</b>	<b>86.5</b>
合格者(人)	<b>100</b>	<b>111</b>	<b>94</b>	<b>98</b>	<b>96</b>
受験者(人)	<b>106</b>	<b>120</b>	<b>99</b>	<b>106</b>	<b>111</b>

年度(回)	2019(114)	2018(113)	2017(112)	2016(111)	2015(110)
合格率(%)	<b>96.1</b>	<b>94.6</b>	<b>97.0</b>	<b>96.5</b>	<b>91.5</b>
合格者(人)	<b>98</b>	<b>106</b>	<b>96</b>	<b>110</b>	<b>97</b>
受験者(人)	<b>102</b>	<b>112</b>	<b>99</b>	<b>114</b>	<b>106</b>

初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人
鳥取県立中央病院	7	関門医療センター	2	公立豊岡病院	1	関西医科大学附属病院	1
山陰労災病院	5	大阪大学医学部附属病院	2	赤穂中央病院	1	京都第二赤十字病院	1
鳥取大学医学部附属病院	5	淡海医療センター(滋賀県)	2	兵庫県立加古川医療センター	1	京都大学医学部附属病院	1
鳥取赤十字病院	5	聖路加国際病院	2	北播磨総合医療センター	1	野崎徳洲会病院	1
松江赤十字病院	4	島根県立中央病院	1	公立宍粟総合病院	1	滋賀県立総合病院	1
神戸大学医学部附属病院	4	岡山赤十字病院	1	兵庫県立丹波医療センター	1	土子病院(奈良県)	1
鳥取市立病院	4	岡山大学病院	1	兵庫県立淡路医療センター	1	聖霊浜松病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	3	岡山済生会総合病院	1	市立伊丹病院	1	磐田市立総合病院	1
京都府立医科大学附属病院	3	JA尾道総合病院	1	大阪公立大学医学部附属病院	1	湘南鎌倉総合病院	1
米子医療センター	2	マツダ病院	1	近畿中央病院	1	誠馨会新東京病院	1
鳥取県立厚生病院	2	中国労災病院	1	JCHO大阪病院	1	津田沼中央総合病院	1
松江市立病院	2	中国中央病院	1	市立豊中病院	1	千葉医療センター	1
津山中央病院	2	広島赤十字・原爆病院	1	大阪医療センター	1	川口市立医療センター	1
倉敷中央病院	2	興生総合病院(広島県)	1	石切生喜病院	1	筑波大学附属病院	1
福山医療センター	2	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター			1		

初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人
松江赤十字病院	8	浜田医療センター	1	市立伊丹病院	1	岐阜大学医学部附属病院	1
鳥取県立中央病院	6	岡山医療センター	1	兵庫医科大学病院	1	岐阜県総合医療センター	1
神戸大学医学部附属病院	5	岡山大学病院	1	市立伊丹病院	1	藤田医科大学	1
山陰労災病院	5	津山中央病院	1	市立吹田市民病院	1	協立総合病院(名古屋市)	1
鳥取大学医学部附属病院	4	JR広島病院	1	大阪医科薬科大学病院	1	JCHO四日市羽津医療センター	1
鳥取赤十字病院	4	広島赤十字・原爆病院	1	近畿中央病院	1	浜松医科大学	1
鳥取県立厚生病院	3	公立宍粟総合病院	1	野崎徳洲会病院	1	浜松労災病院	1
松江市立病院	3	姫路医療センター	1	済生会泉尾病院	1	福井赤十字病院	1
倉敷中央病院	3	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	1	阪南中央病院	1	新潟大学医歯学総合病院	1
島根県立中央病院	2	姫路赤十字病院	1	京都医療センター	1	慶応義塾大学病院	1
兵庫県立加古川医療センター	2	北播磨総合医療センター	1	京都府立医科大学附属北部医療センター	1	聖隷横浜病院	1
大阪大学医学部附属病院	2	加古川中央市民病院	1	洛和会丸太町病院	1	済生会横浜市南部病院	1
大阪府済生会吹田病院	2	兵庫県立丹波医療センター	1	滋賀県立総合病院	1	日本鋼管病院(川崎市)	1
自治医科大学附属病院	2	神戸市立医療センター中央市民病院	1	彦根市立病院	1	誠馨会新東京病院	1
筑波大学附属病院	2	神戸市立西神戸医療センター	1	和歌山県立医科大学附属病院	1	東京都立多摩北部医療センター	1
鳥取市立病院	1	神戸医療センター	1	徳島県立中央病院	1	さいたま市立病院	1
鳥取生協病院	1	兵庫県立淡路医療センター	1	高知大学医学部附属病院	1	上尾中央病院	1
米子医療センター	1	明和病院(西宮市)	1	中部徳洲会病院(沖縄県)	1	青梅市立総合病院	1
島根大学医学部附属病院	1						

初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人	初期臨床研修先	人
鳥取大学医学部附属病院	10	マツダ病院	1	大阪大学医学部附属病院	1	大垣市民病院	1
鳥取県立中央病院	7	広島市立広島市民病院	1	大阪府済生会泉尾病院	1	岐阜県厚生農業協同組合連合会	1
松江赤十字病院	5	広島大学病院	1	八尾徳洲会総合病院	1	総合大雄会病院	1
山陰労災病院	4	岩国医療センター	1	PL病院	1	藤田医科大学病院	1
鳥取赤十字病院	4	公立宍粟総合病院	1	河内総合病院	1	四日市羽津医療センター	1
鳥取生協病院	3	赤穂市民病院	1	和泉市立総合医療センター	1	横浜市立大学医学部附属病院	1
米子医療センター	2	姫路医療センター	1	市立奈良病院	1	横浜市立大学附属 市民総合医療センター	1
神戸大学医学部附属病院	2	加古川中央市民病院	1	奈良県総合医療センター	1	横浜労災病院	1
大阪公立大学医学部附属病院	2	兵庫県立淡路島医療センター	1	済生会滋賀県病院	1	慶応義塾大学病院	1
鳥取県立厚生病院	1	神戸市立医療センター 中央市民病院	1	高松赤十字病院	1	東京慈恵会医科大学附属病院	1
岡山大学病院	1	西宮市立中央病院	1	香川県立中央病院	1	東大和病院	1
岡山医療センター	1	兵庫医科大学病院	1	福岡市民病院	1	群馬大学医学部附属病院	1
日本鋼管福山病院	1	尼崎医療生協病院	1	大分赤十字病院	1	筑波大学附属病院	1
公立みつぎ総合病院	1	箕面市立病院	1	鹿児島市立病院	1	会津中央病院	1
東広島医療センター	1	愛仁会高槻病院	1	中頭病院	1	研修先不明	2
呉共済病院	1	大阪医科薬科大学病院	1	浦添総合病院	1		